

見どころ紹介

①オオバナソシンカ

マメ科の植物で、約10センチほどの赤紫色の花を咲かせます。花がランのように美しいことから、英名で「Orchid Tree(蘭の木)」とも呼ばれます。



②ユーフォルビア レウコケファラ

さらっとした緑色の葉に、雪のように真っ白な苞が美しく映える、園芸店では別名「白雪姫」とも呼ばれている植物です。真っ白な苞も素敵ですが、基部に咲く小さな星形の花もとてもかわいらしいです。クリスマスの植物としておなじみのポインセチアに近い仲間です。

③カナリナ カナリエンス

カナリナ諸島原産の植物でカナリーキキョウとも呼ばれています。ちょっと珍しい植物ですので、お見逃しなく！



④ゴクラクチョウカ

南アフリカ原産の植物で、「極楽鳥」のトサカに似ていることからこの名が付けられました。ちなみに「極楽鳥」とはフウチョウ科の鳥39種を指します。どの種が一番似ているか探してみてください！



⑤カトレア類

中南米原産の洋ランで、特別展示室では主に交配種を展示しています。花の色が鮮やかで、香りもよいものがたくさんあり、色彩、花の大きさ、株の大きさなどにもさまざまなタイプがあります。ときわミュージアムオリジナル品種もご覧いただけます。

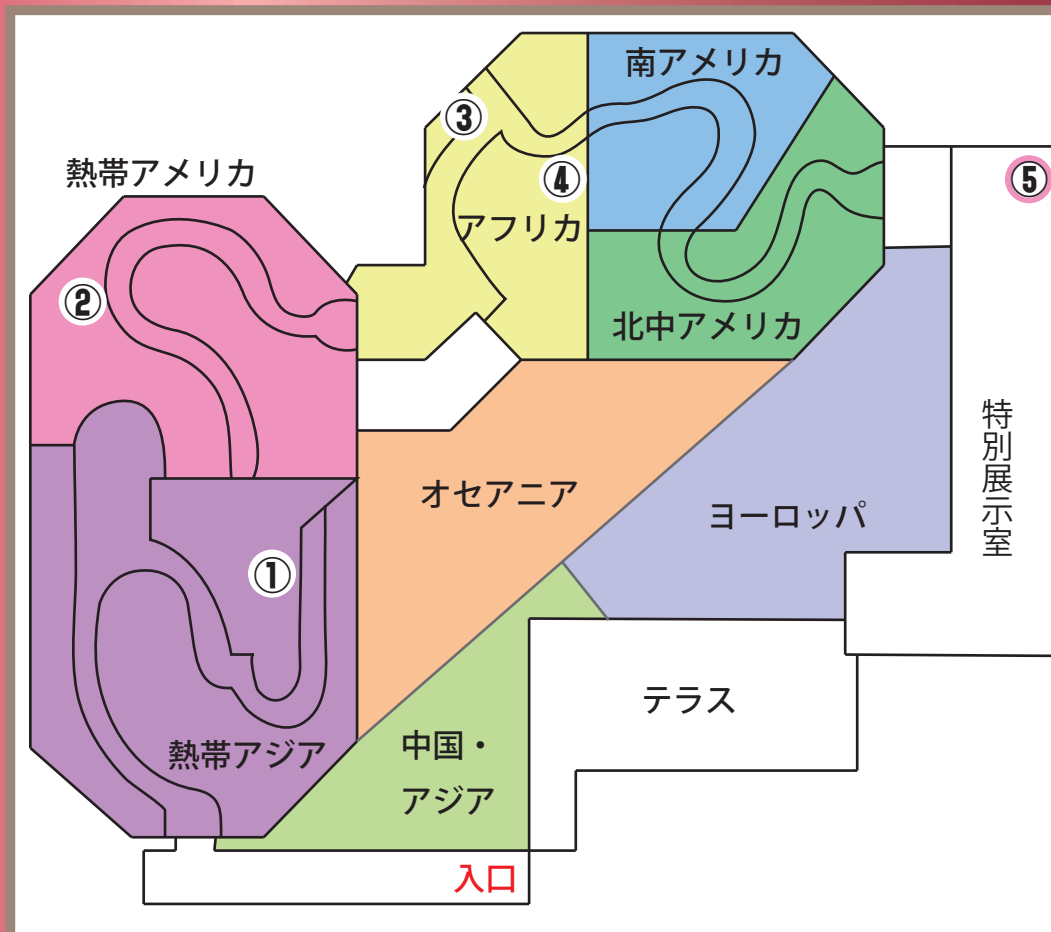


※天候等により、開花時期等が変わる場合があります。ご了承ください。

ときわミュージアム 世界を旅する植物館

12月の見どころ

2017.11.30 作成



ミュージアムの冬の楽しみ方

今年も残すところ1ヶ月となりました。紅葉が進み、次の季節に向けて着実に準備を進める植物たち。ミュージアム周辺の花壇やガーデン、中庭では、株分けや切り戻し、種の採取など、この季節の大切な作業が続いています。植物のありのままの姿を受け入れ、その移りゆく姿の美しさ、生命力を最大限に表現する。枯れゆく姿もまた植物の美しい姿。そう考える当館ヘッドガーデンのもと、冬支度が進みます。

温室内の植物たちもしっかりと「冬」に備えなくてはなりません。元々、温かい地域の植物たち。温室内は加温され、一定の温度は保たれますが、それでもやはり寒いはず。また、加温されることにより、室内が乾燥してしまいます。その乾燥をいかに防ぎ、必要な湿度を保

つかも大切になります。熱帯の植物たちにとっては私たち以上に過酷な季節かもしれません。

生育旺盛な季節の姿とは違い、静かにじっと春を待つ植物たち。そんな植物の「表情」を皆さまにお伝えしていくことも私たちの大切な仕事のひとつです。ときわミュージアムでは、植物の様々な表情やエピソードをお伝えするため、栽培スタッフによる「おすすめガイド」やブログの更新を行っています。静かな冬の時間を植物たちと一緒に過ごしてみませんか？私たちも、奥深い植物の世界を皆さまと一緒に楽しんでいけたらと思っています。

(植物管理係 今本)

【植物栽培スタッフによるおすすめガイド】

平日 10:30～10:45 15:00～15:15

【ミュージアムブログ】<https://www.tokiwapark.jp/museum/blog/>

イベント等のご案内

ときわミュージアムのクリスマス！ 12/6(水)～12/25(月)

無料

「めざせ！世界一のクリスマスツリープロジェクト」写真展示
みんなで作るクリスマスツリーコーナー
「バオバブ」の成長記録コーナー
サンタのふるさとフィンランド紹介コーナー

クリスマスリース作り講習会 12/10(日) 13:30～15:30

要事前申込

有料

木の実や枝などでクリスマスリースを作ります

雪小屋ランプをつくろう 12/17(日) 13:30～15:30

要事前申込

有料

木材、紙やすり、絵の具などで、LEDライトで光る
小屋型のランプを作ります

スワッグ(壁飾り)をつくろう！ 12/24(日) 10:00～12:00

要事前申込

有料

枝や木の実でスワッグ(壁かざり)をつくります

特に記載のない場合、会場はときわミュージアムです。